REC News Letter

Ryukoku Extension Center ニューズレター

You, Unlimited

龍谷大学 RYUKOKU UNIVERSITY

No. 131 発行日：2018年4月25日

お知らせ 本学学生が「漬物グランプリ 2018 決勝大会」に出場します！！



4 月 28 日（土）、東京ビッグサイトで開催される「漬物グランプリ 2018 決勝大会」に、農学部食品栄養学科の学生 2 名が選出されました。当日は、一般来場者試食による投票審査、審査員実食審査、プレゼンテーション審査が行われ、「お漬物日本一」が決定します。本学学生に熱い応援をよろしくお願いいたします。

＜選出作品＞ ① かぶと柿の柚子ジャム漬け
② 味噌 de かぶナッツ

＜出場のきっかけ＞

本学は、2014 年に「滋賀県中小企業団体中央会と「産学地域連携協定書」を締結しました。連携活動の一環として 2016 年度から、会員である滋賀県漬物協同組合と、農学部食品栄養学科の学生・教員が連携し、「近江つけもの」や関わりの深い近江の野菜等について学んでいます。今では学生が中心となり、「近江つけもの」のブランド化を目指し、これまでにない発想を加えた画期的なレシピ開発を進めています。

2017 年度は、前年度の活動に関わっていた 2 年生 2 名が中心となって運営を行い、1 年生から新たなメンバーを加え、「近江つけもの研究所」を開設しました。その活動内容は、勉強会や試食会を核とし、滋賀県がイオンモール草津で開催したフェア「いいものだから伝えたい 近江漬物＆近江米」に参画し、試行錯誤を繰り返す等多岐にわたりました。

それらの成果として、出来上がった 8 種類のレシピを「漬物グランプリ 2018」に応募し、一次審査、二次審査を経て、この度、上記 2 種類のレシピが決勝大会に選ばれました。

お知らせ 2018 年度後期生涯学習講座「REC コミュニティカレッジ」の新規講座企画募集がスタートしています！！

REC では、一般市民を対象にした生涯学習講座「REC コミュニティカレッジ」を開講し、現在では年間約 400 講座、のべ 1 万人余りの方々に受講していただいており、全国有数の規模を誇る生涯学習講座に発展しています。

現在、2018 年度後期講座の企画にあたり、専任・特別任用教員の先生方に新規講座の企画募集を行っております。

本学のエクステンション活動をより一層推進するためにも、積極的な講座企画のご提供をお願いいたします。

【応募方法】「REC コミュニティカレッジ講座企画書」に必要事項を記入のうえ、REC 事務部（京都もしくは滋賀）へご提出ください。
※「REC コミュニティカレッジ講座企画書」は、ポータルサイトの「お知らせ画面」からダウンロードできます。
【応募締切】2018 年 5 月 7 日（月）

※現在開講中の 2018 年度前期講座の情報等については、REC コミュニティカレッジ HP をご参照ください。
http://rec.ryukoku.ac.jp/

ご報告 社会連携事例集特別編集「EFFECTOR」を創刊しました！

龍谷大学の社会連携・社会貢献活動を新たな魅せ方で発信し、学生はもちろん地域一般の方に気軽に読んでもらうことを目的としたタブロイド紙「EFFECTOR」を創刊しました。社会連携・社会貢献活動にどこか堅いイメージを持たれている方にも、手に取って、“暇なときに読んだら捨てる”というライトな感覚で見ていただければと思います。

今後は年2回程度のペースで発刊し、社会連携・社会貢献活動の促進に努めてまいります。

【創刊号】
＜変人ー変える人ー＞
「誰もが活躍する社会」を目指して 株式会社革靴をはいた猫
＜Special Contents＞
「大学は地域のために何ができるのか」
龍谷大学社会連携・社会貢献活動報告会パネルディスカッション
＜Soul Food＞
「かきまでごはん」（和歌山県・印南町）

EFFECTOR
for an Inclusive Society

お知らせ　最大 30 万円の支援！学生活動支援制度「龍谷チャレンジ」を募集します！！

学生の正課外における自主活動や、社会や地域と連携した社会貢献活動を支援する、学生活動支援制度「龍谷チャレンジ」を募集します。 本制度は以下の2部門から選んで応募できます。詳細な募集要項、申請書等は、5 月 7 日（月）以降、社会連携ホームページ、またはポータルサイトからダウンロードできます。

◇自主活動部門
1　応募資格
本学学生のみで構成された団体（局所属サークル及び委員会の日常活動は除く）
2　応募条件・対象事業
（1）社会や本学にとって有意義である学生の自主活動であること。
（2）既存の一般同好会の日常活動でも、大学の活性化を重視した活動や、幅広く社会的に注目される可能性があるものは選考対象となります。
（3）他の団体や組織に所属または付属し、本学学生の自主的活動と判断が出来ない場合は対象外とします。
（4）これまでに「SMAP 計画」や「旧龍谷チャレンジプログラム」に採択され、そのプロジェクトを継続して申請する場合は、当該取組みが、さらに発展した内容であることを客観的に判断することができる資料を面接時に提出してください。

◇社会連携・社会貢献活動部門
1　応募資格
本学の学生が申請代表者を務める団体（他大学学生を含む団体も申請可能）。申請代表者が複数団体の代表を務め、複数申請することは不可とします。複数の団体・グループ等が連携して事業に取り組む場合は、一つの団体・グループが代表して応募してください。
2　応募条件・対象事業
（1）活動主体が学生である団体が他団体（地域住民、企業や行政等）と連携して取り組む事業であること。
（2）内容が地域振興、社会貢献に寄与する事業であること。

お知らせ　5 月の REC の活動

5 月 8 日（火）、15 日（火）　龍谷チャレンジ説明会〈瀬田学舎〉
5 月 10 日（木）、17 日（木）　龍谷チャレンジ説明会〈深草学舎〉
5 月 19 日（土）　REC コミュニティカレッジ東京　シリーズ「親鸞の高僧和讃を読む」〈新国際ビル9階大会議室〉
5 月 22 日（火）～25 日（金）　第 27 回　2018NEW 環境展〈東京ビッグサイト〉
5 月 26 日（土）　REC コミュニティカレッジ東京　シリーズ「親鸞の高僧和讃を読む」〈新国際ビル9階大会議室〉

＜前号の訂正（No.130）＞

3 月 27 日発行の REC News Letter No.130 に掲載しました「2017 年度 REC 事業に携わってくださった先生方」一覧におきまして、以下の誤りがございました。
ここに訂正いたしますと共に、ご迷惑をおかけしました関係者の皆様に深くお詫び申しあげます。

◆産官学連携事業・地域連携事業◆
＜丸山　敦　先生＞　誤）講師　正）准教授
＜本多　滝夫　先生＞　誤）法科大学院　正）法学部

◆生涯学習事業
＜田畑　正久　先生＞　誤）実践真宗学研究科　※文学部の箇所と重複
＜奥野　恒久　先生＞　誤）法学部　正）政策学部
＜林　珠乃　先生＞　誤）実験・実習助手　正）実験助手

龍谷大学
RYUKOKU UNIVERSITY

REC News Letter
No.131

REC News Letter は毎月発行。
次回は 5 月 25 日頃発行します。
※バックナンバーは龍谷大学 HP→教職員向けサイト
→REC 京都サイトをご覧ください。

編集・発行：REC 事務部
http://rec.seta.ryukoku.ac.jp/

●REC 滋賀　REC ホール　（内線 7744）
●REC 京都　紫光館 5 階　（内線 6560）
●REC 東大阪　クリエイション・コア東大阪
産学連携オフィス 2212 号（06-6748-8228）